



ショウガ栽培情報

(プランター)



間もなく梅雨明けと見られます。今年の梅雨は降雨が多く（例年比2.2倍）梅雨らしく経過しました。梅雨明け後は、夏本番となり高温が予想されます。ショウガは乾燥には弱く、また、害虫の発生も増えてくるので注意が必要です。栽培のポイントを参考にショウガ栽培を楽しみましょう。

ショウガプランター栽培のポイント

①アワノメイガの防除

名前の通りアワが大好きな害虫。イネ科作物でよく見かけ、トウモロコシの穂や茎への食害が有名です。

5～9月の間に3回程度発生。幼虫から蛹を経て成虫になるまで約1ヵ月程度かかります。蛹から羽化した成虫は夜間に活動。生きている間に2～3回産卵します。

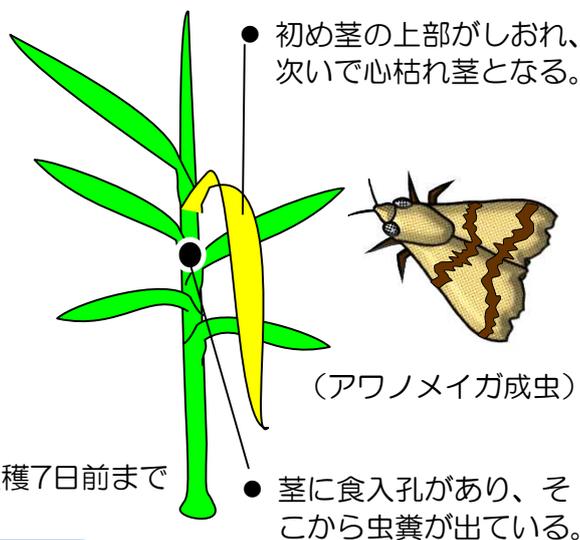
【防除のポイント】

7～8月の高温期には、アワノメイガの発生が多く、家の近くや街中でも被害が出ます。初期の被害を見逃さないように注意する。

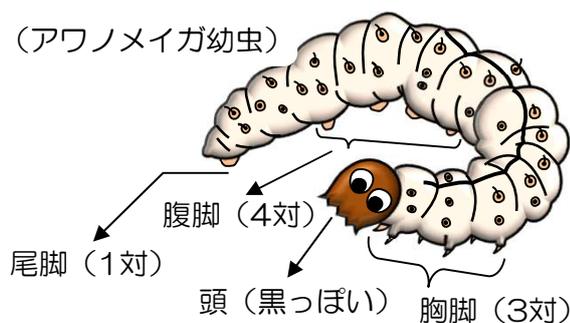
【薬剤】

パダンSG水溶剤／希釈1500倍／使用回数／5回以内／収穫7日前まで

『アワノメイガ被害』



(アワノメイガ幼虫)

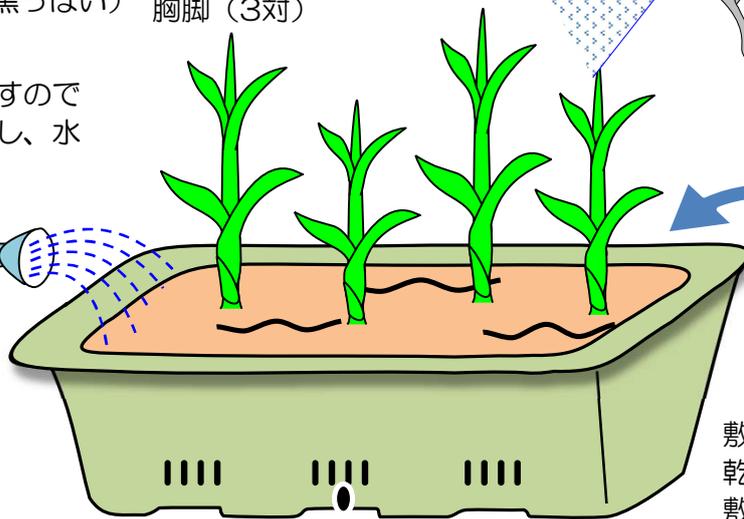


早期発見

- 成虫の飛来。
- 葉裏に白色の卵をウロコ状に産み付ける。
- 幼虫は、葉裏を浅く舐めるように食害する。

灌水

プランターは乾燥しやすいので定期的に灌水する。但し、水のやり過ぎに注意。



敷きわら乾燥を防止するために敷きワラをしましょう。

プランターの水抜き栓をとる。